

施策	15 生涯学習の推進		
事業名	図書館事業	担当課	図書館

事業の概要

目標対象者概要	図書館事業を通じて図書館の利用を高め、利用者の満足を得ること、市民の生涯学習を支援することをめざす。そのため、第3次子ども読書活動推進計画の推進、図書館ボランティアの育成・活用、図書館内での閲覧・複写・貸出返却の環境の向上、読書振興のための講座・講演会の開催等、着実に実行。
---------	---

指標の推移

事業の指標		単位	H28	H29	H30	H31	H32
1	市民一人当たりの貸出冊数	冊	予	10	10		
			実	10			
2	0～18歳の図書館登録者率	%	予	38.9	40.0		
			実	39.8			
3	図書館利用者数	人	予	621,100	621,000		
			実	665,973			

事業の評価

指標の状況	<ul style="list-style-type: none"> 市民一人当たりの貸出冊数・・・図書館内に大人向けの児童書コーナーを設置するなど、貸出増に向けた取り組みを行った。市民一人当たりの貸出冊数は10冊であり、全国的に高い水準を保っている(全国平均5.86冊)。 0～18歳の図書館登録者率・・・4か月児健診での出前登録・貸出し「ようこそほんといっしょ」、学校向け「えほんのひろば」の巡回継続など、多様な事業展開により、向上した。 図書館利用者数・・・図書館・公民館図書室・自動車文庫の来館者は減少したが、インターネット予約などのHP利用や各種講座の参加者は増加傾向にある。 ※全国平均冊数・・・『日本の図書館 統計と名簿2016』から
総合評価	図書館来館者に向けたアンケートでは、本図書館のサービスに対し高い評価がなされており、また、子ども向けサービスでは第3次子ども読書活動推進計画に基づいたボランティアを含む関係各所との連携が功を奏し、登録者率向上につながっているなど、現在の運営手法は妥当と考える。ただし、少子高齢化が進む本市では、図書館や公民館図書室に来館した利用者へ行うサービスの提供のほか、HP利用などの非来館サービスの提供の重要性が増加している。
今後の方向性	現状維持 障がい者・高齢者に向けた資料の充実とサービスの向上を進めるとともに、子ども読書活動推進計画の推進、課題解決につながる資料の整備や高い評価を得られている各種図書館講座の実施も継続する。また来館者へのサービスだけではなく、非来館型の図書館サービスにも力を入れていく必要がある。そのため、ホームページを活用した情報提供や、団体貸出の促進に取り組む。

事業費(決算額)・財源

		H28当初予算	H28決算	H27決算	増減
事業費(決算額) (千円)		85,478	84,213	88,358	-4,145
財源内訳	一般財源 (千円)		82,773	87,779	-5,006
	国府支出金 (千円)		0	0	0
	地方債 (千円)		0	0	0
	その他特定財源 (千円)		1,440	579	861